

詩人尹世霖の童詩の世界⑩

金子總子・訳

我和孩子

在河旁栽一行细柳，
把柳荫留给后代；
在春天撒一把种子，
把收获留给秋天；
为千千万万个孩子，
我愿把心血奉献。

二

我的诗是一缕春风，
轻拂孩子红润的笑脸；
我的诗是一只柳哨，
挑动孩子幻想的心弦；
我的诗是一粒种子，
丢进孩子纯真的心田。

三

写第一首诗时，
我是一个少年；
将来写最后一首诗，
仍要捧出童贞一片。
我是诗的孩子，
是孩子的诗篇。

わたしとこども

川のほとりにすらりと小さな柳をうえた
柳の木陰を後の世代に残すのだ
春にひとつかみの種を蒔けば
秋には収穫が残るのだ
幾千万の子どものために
わたしは心血をささげたい

二

わたしの詩はひとそよぎの春風
こどもつやつやとした明るい笑顔を
そっとなでる
わたしの詩は一つの柳の木の葉笛
こどもの幻想的な心の弦をかき鳴らす
わたしの詩はひとつぶの種
こどもの純真な心の田に落ち込んでいく

三

わたしがはじめて詩を書いた時
わたしはひとりの少年だった
いまに最後の詩を書く時
やはり子どもの清い心を守って詩を書きたい
わたしは詩の子ども
その詩は子どもの詩

